

# 編集室

大学を卒業したらどう生きていくか。自分の将来のことや就職活動は、今も昔も変わらない、学生の最大の関心事の一つだ。

政府が要請するルールでは6月1日が採用選考の解禁とされているものの、民間調査によると、2024年卒の学生（現4年生）の内定率は解禁の時点で約8割に上るといふ。早すぎないか。三十数年前の記憶をたどると、新聞社は5月の大型連休の頃にセミナーと称した選考はあったものの、多くの内定を出す本試験は夏休みの暑い時期だった。

学生の話でも、就活は3年生の今頃の時期から本格化していくという。2年生の終わりからインターンシップを経験する学生がいる一方で、「まだ何も手をつけていない」という学生もいる。スタートは人によって違う。

エントリーシート作成にはChat GPTの活用が広がりつつあるという。作成を支援する無料サービスが始まると、新聞（6月25日付朝日新聞デジタル）が報じていた。イノベーションの刷新は就活の現場にも影響している。

もちろん、就職のためだけに日々の学生生活があるわけではない。しかし、就活時期が早まっていくと、「ガクチカ（学生時代に力を入れたこと）はしっかり蓄えられただろうか」「就活が忙しすぎて、本来の学業などに影響しないか」と心配になる。

「HAKUMON Chuo」に掲載する記事でも、就活や将来のことに関係する話は少なくない。というよりも、スポーツや文化活動、学修などで優れた成績を残したり、顕著な活躍をしたりした学生を取材すれば、おのずと将来のビジョンを尋ねることになる。

就活は「自分を知る」という良い機会である。ありきたりな言い方だが、どの学生にも後悔のない就活を、と願っている。

（編集長 北村豊）

## STAFF

### ◎取材協力

学事部	国際センター
各学部事務室	入学センター
大学院事務室	キャリアセンター
学生部	学友会
ボランティアセンター	経理研究所
中央図書館	学会会 ほか

### ◎写真提供&協力

「中大スポーツ」新聞部

### ◎学生記者

三ツ巻奈央(法4)	西沢美咲(総合政策4)
森美樹(文4)	芳賀葵(法4)
櫻井陸(文4)	近藤陽太(経済3)
堪山泰瞬(商3)	島田莉帆(文3)
影原風音(文3)	海老澤英奈(文3)
倉塚凜々子(国際経営3)	白井美有(国際経営3)
谷井花蓮(総合政策3)	高橋璃々(経済2)
酒井優実(商2)	三浦菜々花(国際経営2)
鈴木萌結(国際経営2)	北村結(総合政策2)
小西結音(総合政策2)	= 順不同

### ◎制作協力

植田知美 北村美紀(株式会社CCG MANABI)  
 加藤タカミツ(写真家)  
 鈴木充(広研印刷株式会社)

Web版はこちらから閲覧できます。  
「HAKUMON Chuo」の取材や  
編集に携わる「学生記者」も募集中です。



NEXT  
ISSUE

『HAKUMON Chuo』2023秋冬号  
No.279 11月21日発行予定

学生記者が  
総力取材!!

お楽しみに!



2023 夏号 No.278

2023(令和5)年7月7日発行

発行：中央大学広報室  
〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1

『HAKUMON Chuo』編集担当メールアドレス：hc-grp@g.chuo-u.ac.jp